

# 高病原性鳥インフルエンザ 大分県で、疑似患畜 確認

## 【全国11例目】

- ・大分県大分市宮尾 採卵鶏 約8,100羽飼養
- ・2月2日午後、農場から大分家畜保健衛生所に通報  
(死亡羽数増加:2月2日に38羽の死亡確認)
- ・2月2日午後 A型インフルエンザの簡易検査で11羽中8羽陽性
- ・2月2日深夜 遺伝子検査で、11羽中9羽でH5亜型陽性、死亡鶏の状況等も合わせて考え、疑似患畜と判定

[【次頁「日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況」参照】](#)

## 飼養衛生管理の遵守と異常発見時の早期通報の徹底 高病原性鳥インフルエンザの侵入・拡散の防止のポイント

### 1 農場の衛生管理の徹底

【参考】基本的な飼養衛生管理

- ①防鳥ネット等、野生鳥獣の侵入防止対策の徹底
- ②農場内専用の衣服、履き物を設置し、出入り時は必要な消毒を実施
- ③鶏の飲用水は、消毒されたものを給与



### 2 早期通報の徹底

- ①鶏冠・肉垂等のチアノーゼ、沈うつ等本病が疑われる症状を確認した場合
- ②1鶏舎において、死亡羽数が直近3週間の平均死亡羽数と比べて2倍以上に増えた場合
- ③1鶏舎において5羽以上がまとまって死亡しているような場合
- ④その他にも、突然死、産卵率の低下、頸の捻転等神経症場等、本病が疑われるような異常が確認された場合

**速やかに、飛騨家畜保健衛生所に通報してください。**

**連絡先**

飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 FAX32-9019

E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp



# 日本における高病原性鳥インフルエンザの発生状況

## 《H22年10月～》

注意:これから夏に向け越冬したツルなどが大陸に戻ります。また、南方からツバメなどが繁殖のため飛来します。野鳥の営巣地に鳥インフルエンザウイルスが拡がっている可能性がありますので、今後日本各地で鳥インフルエンザが発生することが予想されます。引き続き、防疫対策の強化をお願いいたします。



**宮崎県**

- ①宮崎市: 鶏(種鶏) 約10,000羽飼養 1月22日 H5N1亜型(強毒性) 1月24日 防疫措置完了
- ②新富町: 鶏(採卵鶏) 約410,000羽飼養(殺処分66,000羽) 1月23日 H5N1亜型(強毒性) 2月2日 防疫措置完了
- ③都農町: 鶏(肉用鶏) 約10,000羽飼養 1月27日 H5N1亜型(強毒性) 1月29日 防疫措置完了
- ④川南町: 鶏(肉用鶏) 約92,000羽飼養 1月28日 H5N1亜型(強毒性) 1月31日 防疫措置完了
- ⑤延岡市: 鶏(肉用種鶏) 約6,600羽飼養 1月28日 H5N1亜型(強毒性) 1月30日 防疫措置完了
- ⑥高鍋町: 鶏(肉用鶏) 約40,000羽飼養 1月30日 H5N1亜型(強毒性) 2月1日 防疫措置完了
- ⑦宮崎市: 鶏(肉用鶏) 約190,000羽飼養 2月1日 簡易検査陽性 H5亜型 2月2日 殺処分完了

: 養鶏農家  
 : 野鳥等